

JSPE 教育部会主催 FY2025 第 2 回技術施設見学会 実施報告書

2025 年 6 月 25 日

- ・見学先： 和田ポンプ施設
- ・場所： 東京都杉並区和田 2-1
- ・開催者： 東京都下水道局西部第一下水道事務所
- ・見学日： 令和 7 年（2025 年）6 月 14 日（土）10:40～12:00
- ・申込者： 3 名
- ・参加者： 2 名（PN 会員 1、PE 会員 1）
- ・CPD： 1.5PDH

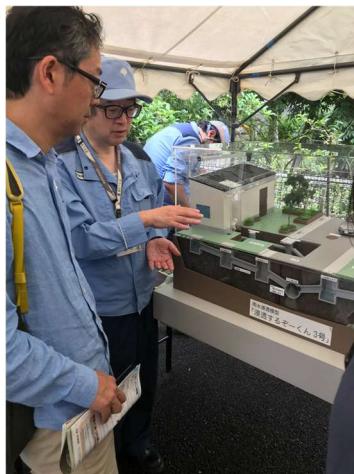
東京都下水道局では例年（コロナ感染対策時期を除く）、普段見られない巨大雨水貯留管を体感してみよう、という趣旨で見学会を開催しており、今回は数年ぶりの実施となります。

JSPE としての参加は 2018 年以来 7 年ぶりとなり、今回は清掃メンテナンスが終った状態で見学できるとのことから期待も大きく、ポンプ施設にやってきました。

施設入口で受付を済ませると我々（第 3 グループ）の順番が来るまで、施設前面でのオリエンテーションや水圧体験設備で実験しながら待機します。



入口受付



オリエンテーション



水圧体験設備

時間となり、施設の地上階で和田ポンプ施設の歴史や概要説明を受けた後、ポンプ場周辺町並みのミニチュア模型に水を流して、雨水の動きを観察しました。



和田弥生幹線分水システム模型

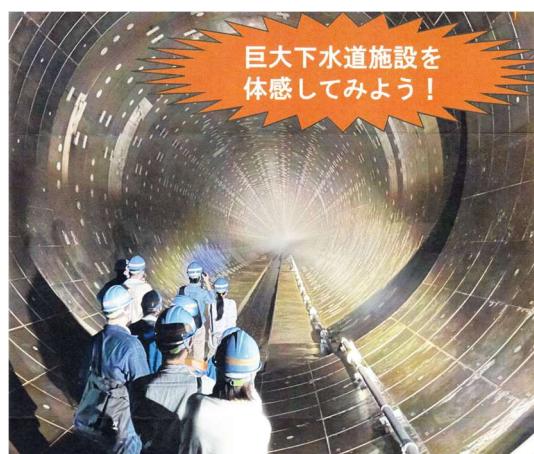


都下水道局担当者による流下実験

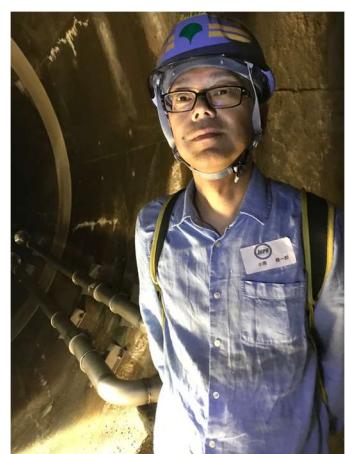
模型による説明の後は、いよいよ地下 50m の貯留管まで階段を降りて行きます。途中、休憩を挟みながらの下りですが、結構きついです。



幹線断面図

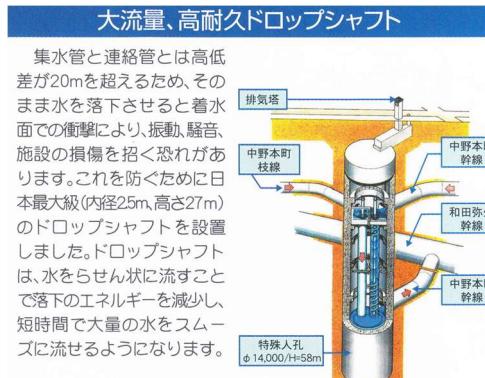


和田弥生幹線雨水貯留管

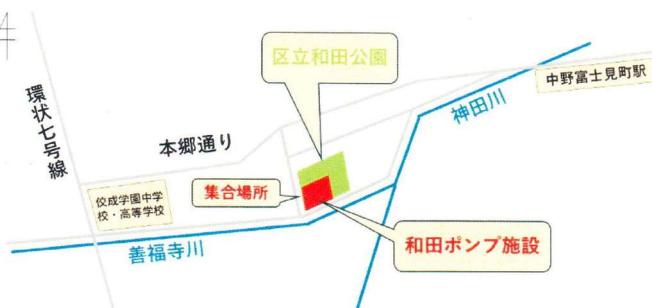
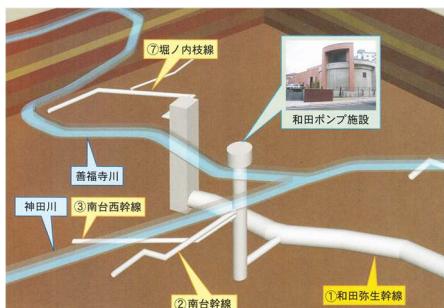
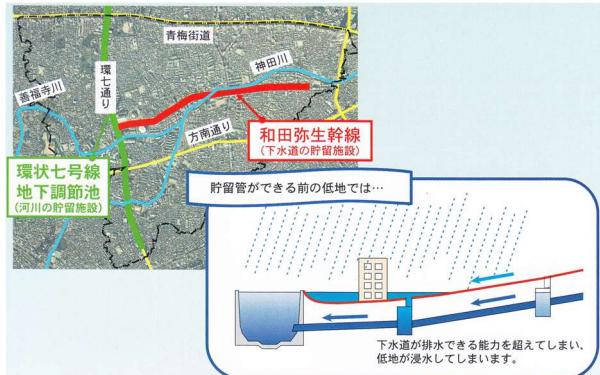


JSPE 参加者

貯留管幹線に辿り着く途中にはドロップシャフトという上方の幹線・枝線から集水して和田幹線に落とす際に、落下の衝撃を緩衝させるための設備が置かれてありました。



ドロップシャフト構造図



貯留幹線とポンプ施設を一通り見学し終わった後は、降りてきた50mの階段を、登って地上に戻るのですが、これがまたきついです。行きは良い良い、帰りは…。

ということで、何とか地上に帰還することができ、アンケートに回答してから解散です。

ちなみに当日の天気は曇り後、雨で、午後から参加したグループは、雨水が貯留管に流れ込む危険性を避けるため、地上部のみの見学となつたようです。

JSPEグループは当日、まことにラッキーだったと言えます。

文責：山村佳輝